

成果の説明書

(氏名) 塩澤康平	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<p>個人の選好を調査するための実験手法についての研究に引き続き取り組んでいる。昨年度までの研究成果を含めて、成果の取りまとめを行った。予算制約下での分配の実験において用いられる分配に関する選好のモデル (CES 型効用関数モデル) の問題点および改善方法をまとめた論文を執筆し、ディスカッション・ペーパーとして公表した。同様に、時間選好の実験に関するモデル (CES-QHD モデル) の問題点を指摘する論文を執筆し、ディスカッション・ペーパーとして公表した。現在は、これらの論文を査読付き学術論文雑誌で出版するための作業を実施している段階である。</p> <p>また、上記の分配に関する選好のモデルを応用する経済実験を実施し、結果を論文としてまとめ、ディスカッション・ペーパーとして公表した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Inukai, K., Shimodaira, Y., & Shiozawa, K. (2022). Revisiting CES utility functions for distributional preferences: Do people face the equality–efficiency trade-off? (No. 1195). Institute of Social and Economic Research, Osaka University.・ Inukai, K., Shimodaira, Y., & Shiozawa, K. (2023). Investigation of the convex time budget experiment by parameter recovery simulation (No. 1185r). Institute of Social and Economic Research, Osaka University.・ Inukai, K., Shimodaira, Y., & Shiozawa, K. (2022). Empirical properties of an extended CES utility function in representing distributional preferences (No. 1199). Institute of Social and Economic Research, Osaka University.	
2 その他の事項	
<p>予算制約下での意思決定実験において、被験者の行動データとモデルとの一貫性を分析する手法 (顕示選好理論的な分析手法、または、パラメトリックな効用関数から導出される回帰モデルの残差項のモデリング手法) に関する文献調査を実施した。また、リスク選好のモデルに関する文献調査を実施した。</p>	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>予算制約下での選好を調査するための経済実験に関する研究を推進する。特に、被験者の行動データとモデルとの一貫性を分析する手法について調査する。また、予算制約下でのリスク選好の実験で、被験者の行動データを分析するための手法について調査する。</p>	